

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)

(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

自主防災会

事業名	1	地域防災強化事業		
事業期間	令和3年5月～令和4年3月			
決算額	80,800 円		助成金充当額	0 円
事業対象者	全地区民		参加人数	50人
事業内容	・ 防災訓練実施 ・ SNSを活用した防災情報伝達体制の整備			
事業目標	・ 防災訓練の実施			
	数値目標		令和3年目標	令和3年実績
	自主防災訓練参加人数		50人	60人
	・ 山口大学三浦房紀教授を講師に、防災学習会を開催。また、自主防災会とひだまり学童教室がともに地震の模擬体験や非常食の試食等を実施。			
事業効果	・ 地震体験を通じて、住民の防災意識をより高め、災害に強い地域づくりを推進した。 ・ 厚東地区LINEグループにより、避難勧告発令時等には迅速な防災情報を発信した。			
今後の課題等	・ 厚東地区LINEグループへの登録を推進するとともに、情報弱者等への声掛けなど、多様な避難体制の確立。			
自己評価 (3段階評価) 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2 3
	助成金を有効に活用できましたか (助成金なし)		1	2 3
	多くの住民の参加が得られましたか		1	2 3
	今後も事業継続できますか		1	2 3

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体 体育推進員連絡協議会

事業名	2	健康づくり事業			
事業期間	令和3年5月～令和4年3月				
決算額	178,000 円		助成金充当額	118,000 円	
事業対象者	全地区民		参加人数	80人	
事業内容	・100周年事業「みんなで元気にラジオ体操」の実施 ・「厚東ウォーキングデー」(「地区歩こう会」の代替企画)の実施				
事業目標	・「厚東ウォーキングデー」の実施				
	数値目標	令和3年目標		令和3年実績	
	ウォーキング参加人数	80人		84人	
	・「地区歩こう会」の代替事業として、参加者が開催日の自由な時間にスタート・ゴールすることで3密を避けながらウォーキングを楽しむ「厚東ウォーキングデー 歩いて！探して！キーワードラリー」を実施。地域住民の健康推進を図る。				
事業効果	・コロナ禍の運動不足を解消し、健康で明るい住みよい環境づくりを推進した。 ・ウォーキングにキーワードラリーを加えることで、地区内の魅力の再発見や愛着心の醸成につながった。				
今後の課題等	・ウォーキング充実のための新たなコース等の開発				
自己評価 (3段階評価) 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか		1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか		1	2	3
	今後も事業継続できますか		1	2	3

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体
小学校運営協議会
中学校運営協議会

事業名	3	小中学校連携事業			
事業期間	令和3年5月～令和4年3月				
決算額	47,000 円		助成金充当額	47,000 円	
事業対象者	全地区民		参加人数	100人	
事業内容	・ 地区出身者によるキャリア教育の実施 ・ 地域の花壇ボランティアによる学校内の花壇整備 ・ 運営協議会の開催				
事業目標	・ 地区出身者によるキャリア教育の実施				
	数値目標		令和3年目標	令和3年実績	
	キャリア教育参加人数		100人	140人	
	・ 地域と学校との連携による、よりよい教育環境づくりの推進				
事業効果	・ 昨年度小学校で行った地域主導のキャリア教育を中学校でも実施。学校と地域団体が連携し、県内外で活躍している地区出身者とリモート機器でつなぎ、職業のやりがいや苦勞、ふるさと厚東への思いを発信してもらった。子どもたちは将来の夢や職業観、地域への愛着心を形成する機会となった。				
今後の課題等	・ 小・中学校運営協議会と地域とのさらなる連携				
自己評価 (3段階評価) 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか		1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか		1	2	3
	今後も事業継続できますか		1	2	3

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体 社会福祉協議会

事業名	4	敬老事業			
事業期間	令和3年5月～令和4年3月				
決算額	350,800 円		助成金充当額	328,000円	
事業対象者	全地区民		参加人数	のべ130人	
事業内容	・ 敬老会及びふれあい昼食会開催に代わる記念品贈呈および見守り・声掛けの実施				
事業目標	・ 敬老会等が中止となったため、福祉委員が該当世帯を訪問し、記念品を贈呈				
	数値目標	令和3年目標		令和3年実績	
	配布人数	—		のべ130人	
	・ 記念品贈答を通じ、高齢者の見守り活動を推進				
事業効果	・ 福祉委員による記念品贈呈を通じ、高齢者との交流および見守りがなされた。 また、R2年度に地域で作成した「ふくし連絡票」を活用し、福祉委員と民生委員との連携が行われた。				
今後の課題等	・ 「ふくし連絡票」を活用した高齢者等の見守りの推進				
自己評価 (3段階評価) 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか		1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか		1	2	3
	今後も事業継続できますか		1	2	3

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体 子ども会育成連絡協議会

事業名	5	三世代交流事業			
事業期間	令和3年10月～令和4年2月				
決算額	44,310 円		助成金充当額	20,000円	
事業対象者	全地区民		参加人数	200人	
事業内容	・ しめ縄づくり（伝統行事伝承教室）の実施 ・ どんど焼き（伝統行事伝承教室）の実施				
事業目標	・ しめ縄づくり（伝統行事伝承教室）の実施				
	数値目標		令和3年目標	令和4年実績	
	しめ縄づくり参加人数		100人	100人	
	・ 伝統行事の伝承を通じて、三世代の交流を推進				
事業効果	・ コミュニティ推進協議会、小学校、子ども会の連携により、伝統行事が伝承されるとともに、ふるさと厚東への愛着心を醸成することができた。				
今後の課題等	・ 伝統行事や技術継承者の育成。 ・ 三世代の交流を通じて、地域づくりに参加する機会を継続していく必要がある。				
自己評価 （3段階評価） 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか		1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか		1	2	3
	今後も事業継続できますか		1	2	3

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)

(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

コミュニティ推進協議会

事業名	6	コミュニティ行事運営事業			
事業期間	令和3年5月～令和4年3月				
決算額	436,700 円		助成金充当額	286,700 円	
事業対象者	全地区民		参加人数	100人	
事業内容	・「コロナに負けない！厚東夢花火」(ふるさとまつり代替企画)の実施 ・「初日を見よう」の実施 ・地域計画にかかる周知活動				
事業目標	・「コロナに負けない！厚東夢花火」の開催				
	数値目標		令和3年目標	令和3年実績	
	「コロナに負けない！厚東夢花火」 参加人数		100人	100人	
	・コロナの終息を願うとともに、地域住民に「元気」と「希望」を届けるため、従来のふるさとまつりに代わる企画を実施				
事業効果	・地域住民の理解と地域団体の協力により、感染対策を講じたうえで2回に分けて短時間で開催。3密を避けるため、近隣住民には「厚東だより」やSNS等を通じ、自宅からの観覧をお願いした。				
今後の課題等	・コミュニティ推進協議会の役員が高齢化していく中、イベントを持続的に開催するために、SNSを活用するなど若い世代との交流・活躍の場を創造していく必要がある。				
自己評価 (3段階評価) 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか		1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか		1	2	3
	今後も事業継続できますか		1	2	3

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体 まちづくりサークル

事業名	7	まちづくり事業			
事業期間	令和3年5月～令和4年3月				
決算額	81,400 円		助成金充当額	81,400 円	
事業対象者	全地区民		参加人数	60人	
事業内容	・ 厚東川いかだ下りの実施 ・ 旧山陽道(どんだけ道)の整備				
事業目標	・ 厚東川いかだ下りの実施				
	数値目標		令和3年目標	令和3年実績	
	厚東川いかだ下り参加人数		30人	80人	
	・ 地域資源の活用、行事を通じた多世代間の交流				
事業効果	・ 地域資源である竹等を使いたいかだづくりを通じて多世代間の交流が生まれた。また、その後、皆で協力しながら厚東川下りを実施。子どもたちは夏休みの貴重な体験の一日になったとともに、各世代を通じて自然豊かなふるさとへの愛着心が醸成された。				
今後の課題等	・ 会員の高齢化にともない、新規会員を増やしていくとともに、事業継続のために、これまで以上に他団体と連携・協力していく必要がある。				
自己評価 (3段階評価) 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか		1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか		1	2	3
	今後も事業継続できますか		1	2	3

(添付書類用)

令和 3 年度 地域創生事業助成金 実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体 環境衛生連合会厚東支部

事業名	8	環境衛生活動事業			
事業期間	令和 3 年 5 月～令和 4 年 3 月				
決算額	252,285 円		助成金充当額	34,000円	
事業対象者	全地区民		参加人数	—	
事業内容	・ 環境美化活動 ・ ゴミ処理対策				
事業目標	・ 環境美化活動の実施				
	数値目標		令和 3 年目標	令和 3 年実績	
	環境美化活動の実施		10回	9回	
	・ 環境衛生改善活動により、生活環境の整備と健康で明るい地域づくりを目指す。				
事業効果	・ 各自治会の環境衛生部長、ごみ減量等推進員の活動に対する意識が高く、計画的な活動により衛生的な生活環境の整備が推進できた。				
今後の課題等	・ 高齢化が進む中、人員の確保が必要。				
自己評価 (3段階評価) 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか		1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか		1	2	3
	今後も事業継続できますか		1	2	3

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書（事業別）
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体 交通安全推進員連絡協議会

事業名	9	交通安全対策事業			
事業期間	令和3年5月～令和4年3月				
決算額	160,000 円		助成金充当額	30,000円	
事業対象者	全地区民		参加人数	—	
事業内容	・交通安全啓発活動				
事業目標	・地区内交通死亡事故防止				
	数値目標		令和3年目標	令和3年実績	
	地区内交通死亡事故数		0件	0件	
	・交通安全の輪を地区全域に広げ、安心・安全な環境づくりの推進				
事業効果	・コロナの影響により従来通りの活動の場は少なかったが、交通安全推進員と交通安全婦人部会員の活動に対する意識が高く、安心・安全な環境づくりを推進できた。				
今後の課題等	・今後とも地区の関係団体との連携を深め、活動を継続していくこと。				
自己評価 (3段階評価) 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか		1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか		1	2	3
	今後も事業継続できますか		1	2	3

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体 ふれあい運動推進委員会

事業名	10	ふれあい運動推進事業			
事業期間	令和3年5月～令和4年3月				
決算額	58,000 円		助成金充当額	38,000円	
事業対象者	全地区民		参加人数	—	
事業内容	・ふれあい運動啓発活動				
事業目標	・ふれあい運動啓発活動(ポスター・標語審査、地区人権大会での啓発活動)				
	数値目標		令和3年目標	令和3年実績	
	啓発活動の実施		—	2回	
	・青少年非行防止ポスター・標語審査や地区人権大会での活動報告等を通じて、青少年の健全育成にかかる啓発活動を実施。				
事業効果	・コロナ禍による限られた活動状況の中、学校、PTA、子ども会等とが連携し、地域で青少年の健全育成に取り組み、明るく住みよい地域づくりを推進した。				
今後の課題等	・今後とも活動を通じて地区の関係団体等と連携していくことが必要。				
自己評価 (3段階評価) 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか		1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか		1	2	3
	今後も事業継続できますか		1	2	3